

町長日誌 No.188



町長日誌の第 188 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月8日(土) AM11:30

町長室に入られた経験のある町民の方はそう多くないと思いますが町長室は役場庁舎の2階北側の端にあります。現在の役場庁舎は昭和49年8月に落成し45年の歳月が経過しており、国からは「災害対策の拠点施設なのだから耐震化を早くしなさい!」と催促されています。さて、私がこの日誌を書いている町長室の机がこのほど新しくなりました。以前の机は現庁舎新築時に購入したものでしたが表面に合板を張ってあるタイプもので、さすがに古くなったため剥がれだし、机表面のささくれがひどくて二代目に替えさせていただきました。初代の机は河原太次郎町長から神山友視町長、安藤正雄町長、桑辺博崇町長そして私と5代の町長の仕事を支えてくれました。ある意味、町の歴史の証人でもあったと思える机だったのですが平成の終了と共に役目を終え、令和の始まりとともに新しい机が新しい町の歴史の証人になっていくと思います。



6月2日(日)

今日は興部中学校の運動会です。昨年4月から新しい中学校としてスタートしましたがグラウンドの整備工事が遅れていたため、今回が新しいグラウンドでの初めての運動会となります。暑過ぎず寒過ぎず、とても良い日和の中での運動会が開催されました。午前中だけ見せていただきましたが旧沙留、興部中学校時代のそれぞれの伝統的な競技もちゃんと残されており、何より子どもたちがとても積極的に楽しみながら新しいグラウンドでの運動会を盛り上げてくれている姿に感動すら覚えました。男子のイカダリレー、女子のローハイド、紅白大ムカデそして樽転がし、とても素晴らしい運動会でした。皆さん、お疲れさまでした。

6月4日(火)

オホーツク管内観光連盟の総会が初めて興部町で開催されました。興部町では二年前に一般社団法人おこっぺ町観光協会を立ち上げたことから今回の総会開催をお受けしたようです。この連盟の会長は温根湯温泉大江本家の大江社長です。総会では来賓として歓迎の挨拶をさせていただき、交流会でも楽しく懇談させていただきました。お話を伺えば、観光の先進地といえども皆さん悩みは多いようでした。昨年の災害復興割でも道南・札幌旭川圏には恩恵があったようですがオホーツク地域には厳しい結果であったということでした。日本中が観光に力を注いでいますので、これからはどのように特色を出すのか? 知恵と工夫が求められているようです。

今年のオホーツク海高気圧は勢力が強く関東方面にまで影響して冷たい雨を降らしているようです。5月に40度近くの気温になったことが嘘のような寒さです。どうか、皆様お風邪をひきませぬように。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

